

2 管内関係機関と連携した高病原性鳥インフルエンザ危機管理の取組

南丹家畜保健衛生所

○龍村順子 種子田功

- 5 【はじめに】当所では平時から、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生予防対策や、発生に備えた防疫作業計画策定及び防疫演習等を実施。地域全体の HPAI 危機管理体制の強化には、関係機関との連携した取組が重要。【取組内容と成果】①発生予防対策体制：農場予防対策の徹底のため、100 羽以上家きん飼養農場（24 戸）の巡回を平成 29 年 11 月～30 年 3 月に毎月 1 回以上実施。振興局との情報共有の徹底と局職員の巡回協力等、連
- 10 携を強化することにより、ため池周辺等農場の重点指導を含め延べ 172 回の巡回・指導等を効率的に実施。府独自の取組として毎年、小羽数飼養者に対する巡回・指導を全戸（H29 年度：116 戸、4,365 羽）を対象に市町等と実施。市町の協力により、飼養者情報の正確な把握や巡回計画策定等の効率が向上し、小羽数飼養者への防疫指導体制が強化。②発生時
- 15 対応：これまで防疫作業の担当職員を中心に、作業手順の確認、検証等を主体に実施していた初動防疫演習及び農場防疫演習等について、振興局危機管理部署等を積極的に参集。HPAI に対する理解と危機管理意識が向上し、現地対策本部体制が強化。また、夜間作業等、新たな課題の指摘等も得られ、より実践に即した演習が可能。【まとめ】振興局、市町等関係機関と家保が連携を深めて HPAI 防疫対策等に取り組むことで、それぞれの危機管理意識が向上し、管内全体の危機管理体制の効率的強化が可能。